

日本フードサービス学会第 24 回年次大会 『フードサービス業の伝統と革新』

フードサービス業の市場規模は 25 兆円を超えるものの、近年は横ばい傾向にあります。外食チェーンの売上は対前年比で前年並み、惣菜市場規模は対前年比でわずかに増加、料理品（惣菜・弁当）小売業販売額はやや増加、といった状況が、平成 29 年度の食品産業動態調査の報告です。マクロで見れば、近年のフードサービス業に大きな変化はありませんし、今後も、日本の人口動態の緩やかな減少傾向を踏まえれば、変化は緩やかなものでしょう。

しかし、これらはいくまで、マクロの視点です。ミクロの事象に目を向ければ、数々の変化があり、フードサービスを担う事業者には、そうした経営環境の変化に応じて、様々な機会があると考えられます。例えば、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催は、和食をはじめとする我が国の伝統、文化をアピールする好機でしょう。逆に、ハラルやコーシャ、ビーガンといった、これまで馴染みの薄かった食文化、慣習への対応も機会です。

思えば、2018 年は、今後の食材や人材のグローバルな流れを、大きく変えるであろう出来事が重なりました。環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定 (TPP11 協定) は、3 月にチリで署名されて以降、日本を含む 7 か国が国内手続きを終えたことで、12 月 30 日に発効することが確定しています。6 月の食品衛生法の改正を受け、2~3 年後には HACCP (危害要因分析・重要管理点) に沿った衛生管理の制度化が始まります。12 月の国会では、日本と EU の経済連携協定 (EPA) の承認や、新しい在留資格で外国人労働者を受け入れる出入国管理法の改正が行われました。民間でも、11 月に、日本発の食品安全規格である JFS-C、ASISGAP が、国際的な組織である GFSI の承認を取得しています。

さらに、フードサービス業には、食品ロスの削減、プラスチックストローの廃止、マリンエコラベル食材の使用など、地球規模での環境や資源管理への配慮が期待されています。

大きな時代の潮流のなかで、フードサービス業は、まさにこれから、伝統を守り、革新を重ねていくこと、環境・社会・経済の視点から、世の中を持続可能にするための先陣を走ることが期待されています。こうしたフードサービス業を支える研究として、本学会には、理論研究、事例研究、実証研究、国際比較研究、歴史研究など、多様なアプローチからの研究が期待されています。

そこで、今回の大会では、自由論題として、大会テーマである『フードサービス業の伝統と革新』に関連する研究報告のみならず、幅広い視点からの研究報告を求めます。第 24 回年次大会で、フードサービス業について活発な議論ができますよう、学会員の皆様におかれましては、研究報告の奮ってのご応募をお願い申し上げます。

日本フードサービス学会第 24 回年次大会
実行委員長 小川 美香子

2018年12月

会 員 各 位

日本フードサービス学会第24回年次大会
実行委員長 小川 美香子

第24回年次大会の研究報告を下記の要領にて募集致します。
奮ってお申し込み下さいますようお願い申し上げます。

日 本 フ ー ド サ ー ビ ス 学 会 第 2 4 回 年 次 大 会

会 期：2019年6月8日（土）
会 場：東京海洋大学品川キャンパス（東京都港区港南 4-5-7）

研 究 報 告 の 申 込 方 法

一般研究発表申込締切：2019年2月28日（木）必着

募集テーマ：フードサービス全般に関する演題を募集致します。
大会テーマ「フードサービス業の伝統と革新」に関連した演題も歓迎です。

申込方法：添付の「研究報告申込用紙」に必要事項を記入の上、事務局宛に FAX または、
E-mail 添付にてご送付下さい。

申込資格：本学会会員並びに賛助会員の所属社員に限らせていただきます。これから入会される方も歓迎です。入会手続き中の場合はその旨明記下さい。

採択について：3月に開催される実行委員会にて審議し、通知申し上げます。

講演発表

1. 発表形式：口頭発表（講演時間 30 分、質疑 5 分程度の予定。）
2. 発表方法：Microsoft Power Point によるプレゼンテーションとなります。

研究報告申込先：日本フードサービス学会事務局
（一社）日本フードサービス協会 内
TEL:03-5403-1060 FAX:03-5403-1070
E-MAIL: info-gakkai@jfgakkai.jp

送付先 FAX : 03-5403-1070
締切 : 2 月 28 日 (木) 必着

日本フードサービス学会第 24 回年次大会研究報告申込用紙

1. 研究報告テーマと報告者の氏名・連絡先

研究報告テーマ	
氏名	
所属	
役職	
連絡先電話番号	
連絡先 メールアドレス	

2. 研究報告内容の概要 (400~600 字)

--

3. 研究報告内容に関連する業績を 2 点書いてください

論文名・書名	雑誌名・出版社名	出版年
1.		
2.		